

# 海の素敵発見館

## 福井県海浜自然センター



所在地	三方上中郡若狭町世久見18-2(食見海岸)		
設置年月日	平成11年7月20日		
施設の種類	展示・体験施設	施設管理主体	県
設置の目的	人と自然が共生したやすらぎある県民生活の実現に向け、より一層自然への理解を深めていただくため、本県の豊かな海を知り、体験していただくための施設です。学習、体験、情報収集と提供などの機能を備えており、県民の皆様の自然保護意識の高揚を目的としています。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート造、地上2階 延2,122㎡ エントランスホール・体験学習室・スノーケル体験施設・展示室・マリンホール(3Dシアター)・海のライブラリー(授乳室あり)・展望デッキ		
職員数	職員5人 非常勤嘱託1人 アルバイト1人 計7人		

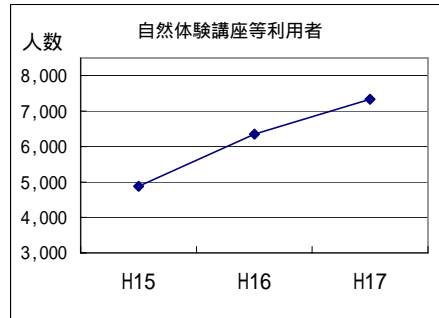
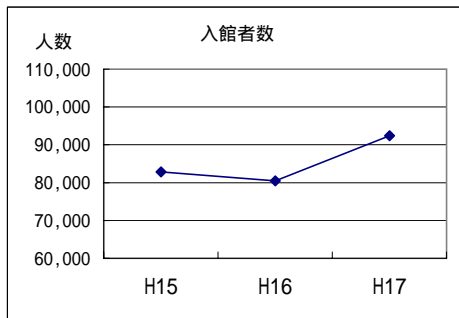
### 利用状況等

	H15	H16	H17
入館者数(人)	82,831	80,494	92,393
自然体験講座等利用者(人)	4,882	6,349	7,338

自然体験講座等利用者は入館者数の内数

### 利用者負担(利用料金)等

入館料	大人	無料
	高校・大学生	無料
	小・中学生	無料






利用状況の推移	平成17年度は、前年度より約1万2千人増の約9万3千人の利用がありました。これは、天気にも恵まれたことありますが、中京方面からの体験旅行が定着してきていることも要因の1つです。開館から7年が経過し、自然体験講座等の参加者数も増加傾向にあり、徐々にセンターの存在が浸透してきたものと考えています。
---------	---

### 平成17年度の特色について




海浜自然センターで行っている事業  
自然保護思想の普及・啓発事業(スノーケリング、磯観察、海藻おしぼ等)

開催回数 83回 参加人数 2,784人

スノーケリング                      磯 観 察                      海藻おしぼ

展示事業 海の自然と環境についての情報の提供と海を疑似体験できる展示  
(ふれあい水槽、リアルタイムスコープ、若狭のくらし、マリンホール)  
3Dシアターと館内見学                      63団体                      4,482人

ふれあい水槽                      リアルタイムスコープ                      若狭のくらし

研修養成講座                      自然に関心を持つ県民の増大を図る  
(スノーケル指導者養成講座等)

調査研究事業                      周辺の海域調査を実施し観察会等に利用  
(藻場調査、生物相定点調査)

資料収集事業                      自然に関する標本や文献等、展示学習資料の収集

利用促進に対する取組み  
三方五湖がラムサール条約湿地に登録され、関心が高まったことから、「水鳥観察会」の開催回数を増やしたり、通常展示に加えて「特別展」を開催し、地域住民、観光客のニーズに応えた。

### 研究の状況

海浜自然センターでは、「食見地区周辺海域調査」を実施しています。

平成17年度

[食見地区周辺環境調査\(PDFファイル\)](#)

[PDFファイルを見るには、Adobe Acrobat Readerが必要です。](#)

[このソフトをダウンロードするには、こちらをご覧ください。](#)

[このソフトをダウンロードするには、こちらをご覧ください。](#)

海浜自然センター 2/2

行政コスト計算書(平成17年度) (単位 千円)

	総額	構成比	前年比	
人にかかるコスト	人件費	37,104	20.6%	70.2%
	退職給与引当金繰入	8,010	4.5%	-
	計	45,114	25.1%	103.4%
物にかかるコスト	物件費	40,391	22.5%	100.9%
	維持補修費	1,386	0.8%	97.5%
	減価償却費	67,709	37.7%	100.0%
	計	109,486	61.0%	100.3%
その他	公債費(利子)	25,135	14.0%	93.0%
	その他	0	0.0%	-
	計	25,135	14.0%	93.0%
合計	179,735	100.0%	100.0%	

バランスシート(平成18年3月31日現在) (単位 千円)

借方			貸方		
資産		前年比	負債		前年比
有形固定資産	1,286,659	95.0%	固定負債	1,036,480	93.0%
投資等	0	-	流動負債	86,105	100.0%
流動資産	0	-	正味資産	164,074	106.8%
計	1,286,659	95.0%	計	1,286,659	95.0%

**施設の特徴**  
 ・本県唯一の海中公園(三方海中公園)や若狭湾国定公園の特徴であるリアス式海岸特有の美しさ、磯辺の生物を観察できる近畿自然歩道を周辺に有し、スノーケリングを始めとする自然体験や、施設内では、若狭の海の歴史や魚の展示、魚にえさを与えたり、直接触れられる体験など、本県の豊かな海を実体験できる施設として大変好評です。

**今後の課題**  
 ・景観がすばらしいレインボーラインや三方五湖観光にあって、集客施設としても位置付けられ、最近では、観光協会との連携で、民宿、県青年の家等に宿泊した場合の自然体験学習施設として、研修、見学コースに組み込まれています。  
 ・海水浴客の減少等、地域の観光客入込数が減少する中、当施設の入館者数は増加傾向にあります。今後は、広報のあり方や他施設との連携の強化、エコツーリズム推進といった観点から、本県の海・湖のすばらしさをアピールしていきます。

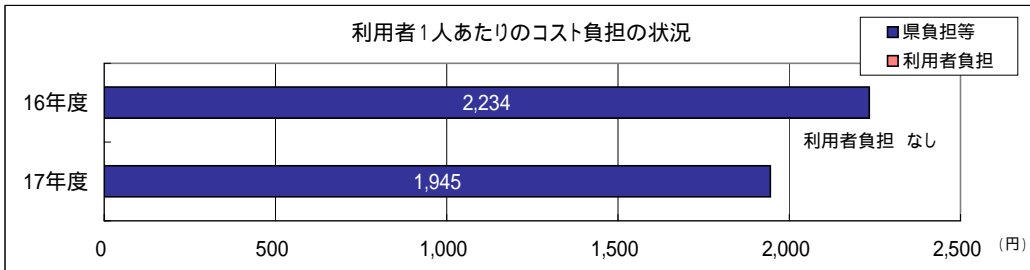
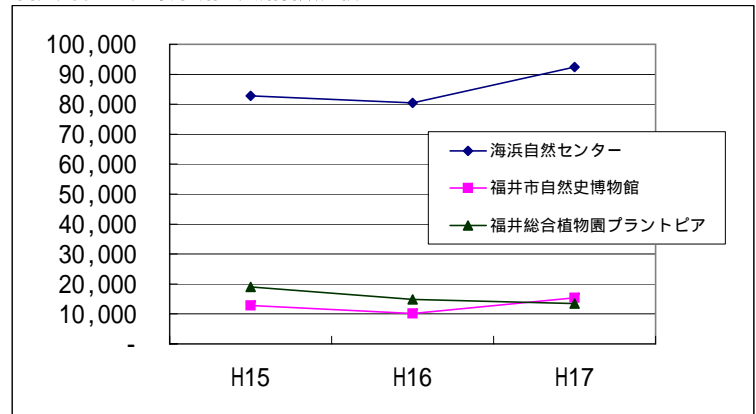
収入 (単位 千円)

収入	利用料等収入	6	0.0%	100.0%
	その他収入	347	0.2%	85.7%
	一般財源	179,382	99.8%	100.0%

(前年比)

利用料等収入計	6,000 円	100.0%
利用者1人あたり平均利用料	0 円	-
利用者1人あたりコスト	1,945 円	87.1%

自然史系の公立博物館の入館者数比較



**バランスシート、行政コスト計算書の特徴**

平成17年度の行政コストの総額は、前年度とほぼ同額ですが、利用者数が増加していることから、利用者1人あたりのコストは減少しています。

**今後の事業方針**  
 ・平成17年11月に三方五湖が国際的に重要な湿地としてラムサール条約に登録されたことから、地域住民の自然保護に対する関心や行政に対する期待も高まっています。従来からの自然体験講座、自然観察指導者の育成・活用、施設での海の情報提供の充実に加え、三方五湖を活用した自然観察会や環境保全団体、エコツーリズム推進団体への支援を強化していきます。

**取り組み内容**  
 ・平成17年12月から三方五湖のラムサール条約湿地登録を記念して、特別展「三方五湖の自然展とその再生に向けて」を開催し、好評を得ました。前年と同様に、地元観光協会との連携により、近隣県の学校の体験学習も多数開催されています。今後とも、他の施設、団体との連携を強化していきます。